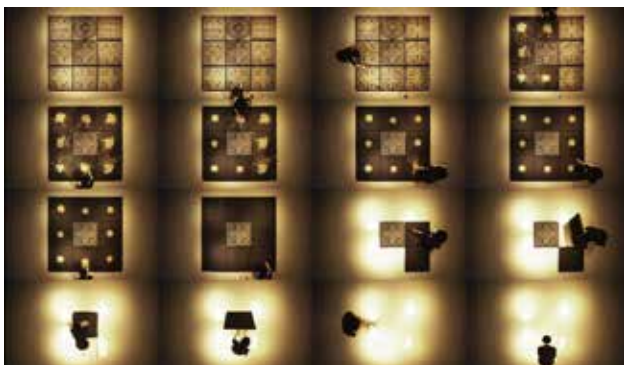




佐藤哲至「Constellation#01-MANDARA」(2013年)



佐藤哲至「Constellation#01-MANDARA-deconstruct」(映像、2013年)



早瀬交宣「お寺・ア・ラ・モード extended ver.」(2013年)



早瀬交宣「浮遊体一floaters」(極小美術館、2014年)

●佐藤哲至(さとう・てつじ)

1981年茨城県生まれ。人間を認知する為の要素を極限まで切り落とした映像作品「blank」(2008-)や、音声認識で言語の論理を嗅ぎ付ける1000匹の虫「論理虫の標本箱」、自作の砂プリンタによって制作された砂曼荼羅「constellation#01-MANDARA」など。最近では社会制度と芸術活動の間に注目して記号表現の分析を続けている。美術活動組合イムネ申。サカモトサトウ(仮)、てんせんめん代表。

【略歴】

2006 武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科卒業
 2008 東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了
 2008-2012 武蔵野美術大学造形学部視覚伝達デザイン学科助手
 2012 武蔵野美術大学、東京造形大学非常勤講師
 2013- 東京工科大学、東京造形大学非常勤講師

【発表】

2008 「blank2008」NTT インターコミュニケーションセンター
 2010 「blank2010」千葉県立現代産業科学館
 2011 「これはライトではないし、本でもまたない」Art Space Kimura P ギャラリー
 2012 「論理虫の標本箱」Art Space Kimura P ギャラリー
 2012 「カラヤンの食卓」gallery COEXIST-TOKYO
 2013 「cause and effect」清川泰次記念館区民ギャラリー

●早瀬交宣(はやせ・ともり)

1975年岐阜県生まれ。地続きに見えるひとつの物語も実に細々した要素のつながり合わせで、何よりも、私たち自身が様々なかけらの集積である、という観点から、コラージュ技法を切り口にして、「もの見えかた」や「時間」、「記憶」をテーマにした映像制作を行う。

【略歴】

2006 武蔵野美術大学 造形学部視覚伝達デザイン学科 卒業
 2006-2008 映像制作会社勤務
 2008-2012 武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科研究室 助手
 2012- 武蔵野美術大学、東京工科大学非常勤講師

【展示・上映履歴】

2009 「複眼思考 - Looking through a compound eye -」art space kimura ASK? (東京)
 「AIAF(オーストラリア国際アニメーションフェスティバル)」Forum 6 Cinema (Wagga Wagga, オーストラリア)
 「MIAF(メルボルン国際アニメーションフェスティバル)」ACMI (Melbourne, オーストラリア)
 「SIAF(シドニー国際アニメーションフェスティバル)」シドニー工科大学 (Sydney, オーストラリア)
 「EKSJO ANIMATION FESTIVAL」エークシェー市内 (EKSJO, スウェーデン)
 2010 「複眼思考 - Looking through a compound eye -」art space kimura ASK? (東京)
 2011 「池田山麓現代美術展 2011—宇宙の連環として①」極小美術館 (岐阜)
 2012 「複眼思考 - Looking through a compound eye -」art space kimura ASK? P ギャラリー (東京)
 2012 「池田山麓現代美術展 2012-象の檻」極小美術館 (岐阜)
 2013 「幽体離脱しちゃったみたい」gallery COEXIST-TOKYO (東京)
 2013 「Pictoplazma Berlin」BABYLON am Rosa-Luxemburg-Platz (Berlin, ドイツ)
 2014 「早瀬交宣展」極小美術館 (岐阜)

●イムネ申(いむねも)

2012年にできた佐藤哲至と早瀬交宣を中心とする非申請・非認可の美術活動組合で、活動にルールがある訳ではない。組合員の最近の活動は風船でつくった大仏を天高く上げたり、障子にアニメ目をつけたり、kinectで仏像やバナナをスキャンし、80年代風のCG映像作品をつくるなど。メンバーがたまに増える。

【関連イベント】

○「ネ申言舌をつくる〜コラージュ的物語制作」早瀬交宣・佐藤哲至
 4月29日(火) 昭和の日 13:00 ~ 16:00 (1500円)



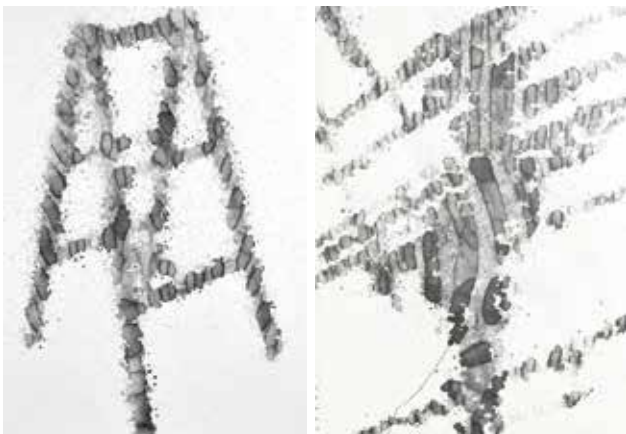
越田乃梨子「断続教室」(video installation 2013年)



越田乃梨子「夜がしのぶ」(video installation 2012年)



たけのこうしろう「ときめき☆ダイアリー」(マンガ 2010年～)



坂本洋一・佐藤哲至「ハシゴ／電柱」(コンピュータ制御による墨絵 2013年)

●越田乃梨子(こしだ・のりこ)

【制作コンセプト】

1981年生まれ。複数のカメラを用いた独自の撮影手法とシンプルな仕掛けで、ビデオというメディアを強く意識した作品を制作。これまでに、川崎市市民ミュージアムや東京都写真美術館、ICCなどで作品が紹介されている。

【略歴】

2008 東京芸術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了

2005 武蔵野美術大学映像学科卒業

【発表】

2012 「遠くの私、側の私」XYZ collective

2010 「エマーゼンシーズ 15 越田乃梨子 “机上の岸にて”

ICC (NTT インターコミュニケーションセンター)

2010 「第二回恵比寿映像祭 “歌をさがして”」東京都写真美術館

2009 「歪んだ瞬間 - 未来派、構成主義、パウハウス、現代作品から探る -」

川崎市民ミュージアム

【関連イベント】

○「白昼夢の作り方～極私的映像制作論その2」越田乃梨子

5月10日(土) 18:00～20:00 (1500円)

●たけのこうしろう

【制作コンセプト】

1984年生まれ。ほとんど「女の子として」生きていた子どもの頃「少女の絵ばかり描いていた」という思い出から、自分が小さかった頃(80年代～90年代前半)の少女アニメ・マンガのテイストが感じられるイラストを描くようになりました。

【略歴】

2009 武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科卒業

2009-2012 デザイン事務所勤務

2012- 芸能事務所勤務

【発表】

2009 漫画星「ファンシィガール」

2010 ロックンロールニュース「ときめき☆ダイアリー」

2012 an・an「ときめきスイッチをONにしよう!」特集イラスト
ももいろクローバーZ コンサートグッズイラスト

2013 Hanako FOR MEN 連載

2014 Hanako イラスト掲載

【関連イベント】

4月26日(土) 18:00～アート交流会「EARTH+漫画を考えた祭り」

出演:たけのこうしろう、ヨウナコウサギウグイス、佐藤悠 他

参加費 500円

●坂本洋一(さかもと・よういち)

【制作コンセプト】

1982年東京都生まれ。常識、視覚現象など普通と思っていることや、当たり前のようにとらえていることを一度疑ってみることをきっかけに、映像、エンジニアリング、プログラムを通して作品表現行っています。サカモトサトウ(仮)。

【略歴】

2006 東京芸術大学建築学科卒業

2008 東京芸術大学大学院映像研究科メディア映像専攻修了

2008-2010 建築設計事務所勤務

2011- ライゾマティクス勤務

【展示・上映履歴】

2006 PocketFilmFestival

2008 OS1 東京芸術大学(横浜)

2009「Media Practice 08-09」Bank Art NYK(横浜)

2009「リニューアル展」武蔵野美術大学美術資料図書館(東京)

2009 5～8月「エマーゼンシーズ! 011」

NTT インターコミュニケーションセンター(東京)

2010 10月「みる!みえる?～錯視から探る視覚のしくみ～」

千葉県立現代産業科学館(千葉)

2013「cause and effect」清川泰次記念館区民ギャラリー(東京)

【関連イベント】

サカモトサトウ(仮)+大森誠の工作WS

5月11日(日) 13:00～16:00 (3000円材料費込み)



伊東歌織「アマキオト」(2014年) photo by kazushi hirota



伊東歌織「オカッパテイル」(2014年) photo by bozzo



村山政二郎ポートレート

●伊東歌織 (いとう・かおり)

【作品コンセプト】

「身体は所詮、お供えもの？」をコンセプトにしたダンスグループ『アマキオト』主宰。日本特有の儀式をヒントに身体を配置させて振付を紡ぎ出すのを得意とする。

【略歴】

1980年千葉生まれ。ダンスカンパニー『time and locus』『輝く未来』の在籍を経て、2010年よりフリー。ダンスのみに留まらず演劇、映像作品にも参加する。伊藤キム、off-Nibroll、GRINDER-MAN、広田淳一、多田淳之介、越田乃梨子、津田道子等の作品に出演。

【発表】

2008 『グルムシ』横浜赤レンガ倉庫(輝く未来主催公演)

2012 『uRu・guLA!!』仙台メディアテーク/鳥取鳥の劇場/アサヒアートスクエア(JCDN主催 巡回公演)

2012 『アマキオト』uma-merdre

2013 『白の差異』廣盛酒造和室(中之条ビエンナーレ)

2013 『オカッパテイル』代官山 plate

【関連イベント】

○「恋の処方せん〜ダンス編」伊東歌織

4月26日(土) 14:00~17:00 (1500円)

○アマキオトダンスの実験 vol.3 『四角形のゆううつ』

5月17日(土) 開演 15:00~ (2500円)

5月17日(土) 開演 18:30~ (2500円)

5月18日(日) 開演 15:00~ (2500円)

●村山政二郎 (むらやま・せいじろう) <http://www.seijimurayama.com/>

【作品コンセプト】

1957年長崎市生まれ。打楽器奏者。主に次の分野で活動。

1、ノンイディオマティック・インプロヴィゼーション(これに関するイディオマティックな調査ならびにワークショップも含む) http://www.mattin.org/recordings/IDIOMS_AND_IDIOTS.html

2、様々な録音物を用いたエレクトロコースティックな作曲、およびインプロヴィゼーションのためのコンセプチュアルな作曲。

3、様々な他の分野とのコラボレーション(ことば、イメージ、オブジェ、身体を媒体に)

【略歴】

東京外国語大学卒。

1982年に灰野敬二とのアメリカツアーから演奏活動を開始。1999-2013年、主にパリ、ベルリンを拠点にヨーロッパで活動。スロベニアで最初のインプロヴィゼーションのフェスティバル Personal and Collective のキュレータを務めた(2010-12) <http://vimeo.com/27210128>

2005年より振付家 Catherine Diverres の音楽を担当。

【発表】

2012 キッズアートキャンプ山形(東北芸工大)、水と土の芸術祭、

2013 中之条ビエンナーレ、渋谷地下水脈、大岡信ことば館(ワークショップ)。

2014 ケベックビエンナーレ、モントリオールの Suoni per il Popolo フェスに参加予定。

【関連イベント】

○「いろいろな局面における『触れる』をやってみて考える一日」

村山政二郎(打楽器奏者) 予約制です。(予約が5人以上で開催)

4月20日(日) 13:00~16:00 (1500円)

5月04日(日) 13:00~16:00 (1500円)

○村山政二郎コンサート

4月16日(水) 19:00-20:00

Juan Parra + Toma Gouband + 村山政二郎コンサート (1500円)

5月04日(日) 18:00-20:00 村山政二郎ソロコンサート (1500円)